

2019年3月期 決算短信補足資料

2019年5月14日

丸大食品株式会社

URL <http://www.marudai.jp/>

◇ 2019年3月期 連結業績の総括	P.2
◇ 2019年3月期 セグメント別連結業績	P.3
◇ 2019年3月期 連結財政状態	P.4
◇ 2019年3月期 連結業績のポイント	P.5
◇ 2019年3月期 連結キャッシュ・フロー	P.6
◇ 2020年3月期の見通し	P.7
◇ 主力商品紹介	P.8

2019年3月期 連結業績の総括

■売上高■

人手不足や物流・動力費の上昇に加え、お客様の節約志向を背景に競合他社との販売競争が激しさを増すなど厳しい環境が続くも、調理加工食品部門が堅調に推移したことなどから、前年同期比1.4%の増収。

■営業利益■

主力のハム・ソーセージ部門の減収や、コンビニエンス向けの新工場立ち上げに伴う初期コストの影響に加え、食肉事業の減収などから前年同期比△4.9%の減益。

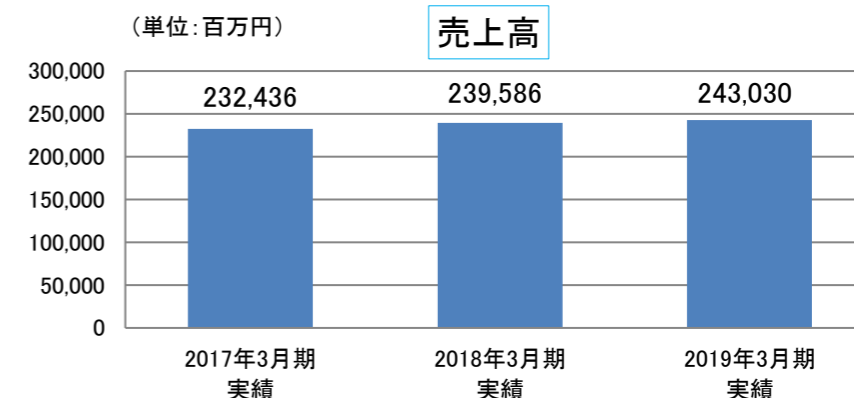
■親会社株主に帰属する当期純利益・配当■

営業利益が低調に推移したことなどの結果、計画を下回り前年同期比△20.5%の減益。
1株当たり配当金は、35円を予定。

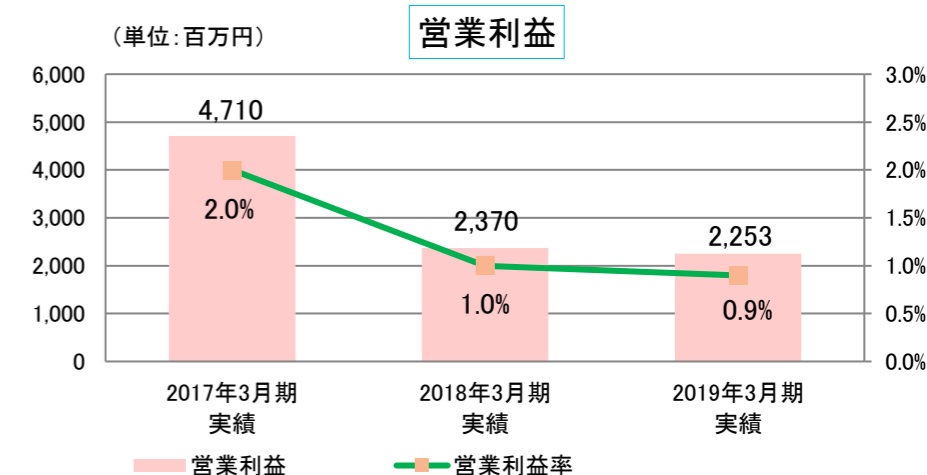
(単位：百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 計画 (※1)	2019年3月期				
				実績	対前年 増減額	対前年 増減率	対計画 増減額	対計画 増減率
売上高	232,436	239,586	245,000	243,030	3,444	1.4%	△ 1,969	△ 0.8%
営業利益 (売上高比率)	4,710 (2.0%)	2,370 (1.0%)	2,400 (1.0%)	2,253 (0.9%)	△ 116 (△0.1%)	△ 4.9%	△ 146 (△0.1%)	△ 6.1%
経常利益 (売上高比率)	5,378 (2.3%)	2,820 (1.2%)	2,850 (1.2%)	2,724 (1.1%)	△ 96 (△0.1%)	△ 3.4%	△ 125 (△0.1%)	△ 4.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	3,284 (1.4%)	1,842 (0.8%)	1,500 (0.6%)	1,463 (0.6%)	△ 378 (△0.2%)	△ 20.5%	△ 36 (0.0%)	△ 2.4%
1株当たり当期 純利益(※2)	124.98円	70.39円	58.90円	57.48円	△ 12.91円	-	△ 1.42円	-
1株当たり配当金 (※2)	8円	8円	35円	35円	-	-	-	-
配当性向(%)	32.0%	56.8%	-	60.9%	-	-	-	-

(単位：百万円)



(単位：百万円)



※1 計画：2018年11月9日発表連結業績予想

※2 当社は、2018年10月1日に株式併合を実施しております。

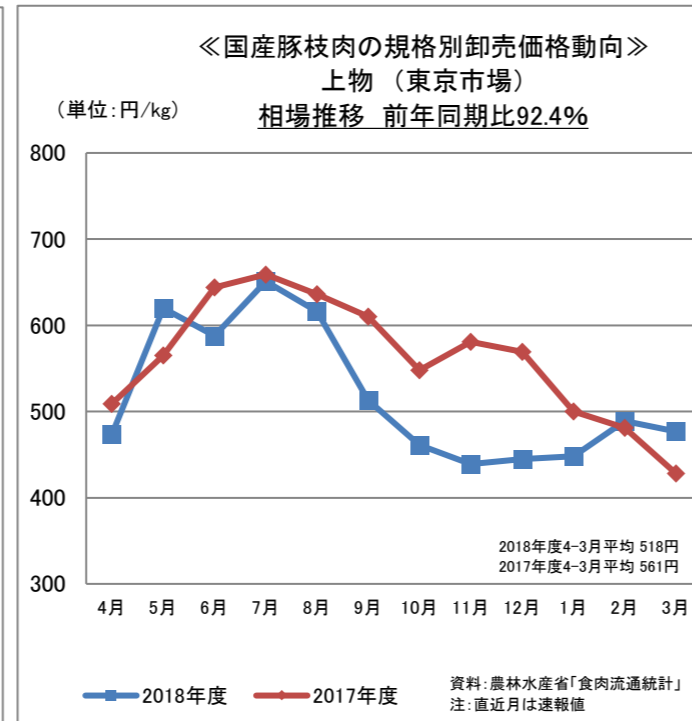
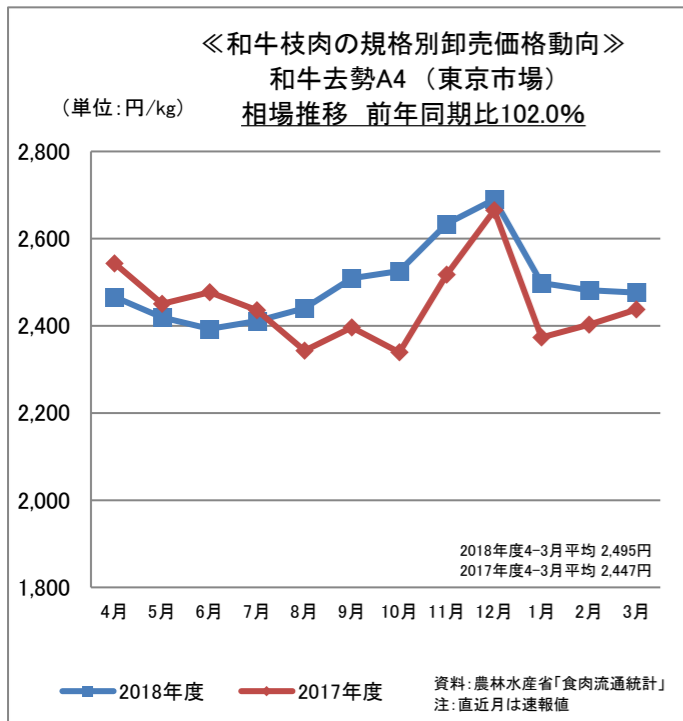
1株当たり当期純利益は、2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。
2017年3月期、2018年3月期の1株当たり配当金は、当該株式併合前の実際の配当額を記載しております。

2019年3月期 セグメント別連結業績

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期		
			実績	対前年 増減額	対前年 増減率
加工食品事業	163,057	165,290	169,387	4,097	2.5%
ハム・ソーセージ	86,997	85,480	80,954	△ 4,526	△ 5.3%
調理加工食品	76,059	79,809	88,433	8,624	10.8%
食肉事業	69,219	74,136	73,481	△ 655	△ 0.9%
その他	160	159	161	1	1.1%
売上高	232,436	239,586	243,030	3,444	1.4%
加工食品事業 (売上高比率)	2,848 (1.7%)	683 (0.4%)	781 (0.5%)	97 (0.1%)	14.3% -
食肉事業 (売上高比率)	1,682 (2.4%)	1,528 (2.1%)	1,389 (1.9%)	△ 138 (△0.2%)	△ 9.1% -
その他	179	158	82	△ 75	△ 47.8%
営業利益 (売上高比率)	4,710 (2.0%)	2,370 (1.0%)	2,253 (0.9%)	△ 116 (△0.1%)	△ 4.9% -

【資料:枝肉規格別卸売価格動向】



■加工食品事業■

- ・ハム・ソーセージ部門では、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」などの主力商品を中心に東京2020オリンピック・パラリンピックオフィシャルサポーターとして、呼称やマークを使用した各種キャンペーンや商品などの販促活動を実施したほか、JAS特級規格「糖質ゼロ」シリーズのロースハムやベーコンなどの新商品の投入や、人気キャラクターを商品化した「ミニオン」シリーズ、「お料理ベーコン」などの拡販に努める。中元・歳暮ギフトは、「王覇」「煌彩」シリーズを中心に売上拡大に努める。これらの施策を行うも、お客様の節約志向を背景に価格競争が激しくなるなど厳しい環境が続く、当部門の売上高は前年同期比△5.3%の減収。
- ・調理加工食品部門では、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズなどのレトルトカレー商品の売上高が堅調に推移したほか、「スンドゥブ」シリーズに新商品を投入し品揃えの拡充を図る。「サラダチキン」シリーズはブロックタイプを追加し売上高に貢献。デザート・飲料類は、人気商品の「TAPIOCA TIME」シリーズが好調に推移し売上高を大きく伸ばす。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比10.8%の増収。

結果、加工食品事業の売上高は前年同期比2.5%の増収。
営業利益は、主力のハム・ソーセージ部門の減収や、コンビニエンス向けの新工場の立ち上げに伴う初期コストの影響など厳しい環境下にあるも、調理加工食品部門の売上高が好調に推移したことなどから、前年同期比14.3%の増益。

■食肉事業■

- ・牛肉は、相場が総じて前年を上回るなか、国産牛肉は販売数量が伸長し売上高が増加するも、輸入冷凍牛肉が低調であったことから、牛肉全体の売上高は前年並みにとどまる。
- ・豚肉は、相場が軟調に推移するなか、国産豚肉は販売単価の低下などから売上高が減少するも、輸入冷凍豚肉の拡販に努めたことから、豚肉全体の売上高は前年をやや上回る。
- ・鶏肉は、相場下落の影響などから、販売数量・売上高ともに前年を下回る。

結果、食肉事業の売上高は前年同期比△0.9%の減収。
営業利益は、輸入冷凍牛肉の収益性の低下などから、前年同期比△9.1%の減益。

2019年3月期 連結財政状態

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	対前期末 増減額
現金及び預金	16,370	8,709	8,127	△ 582
売上債権	25,925	29,048	30,699	1,651
たな卸資産	14,845	16,050	15,772	△ 278
その他の	2,350	1,256	1,328	71
流動資産合計	59,492	55,065	55,927	862
有形固定資産	51,806	56,135	57,843	1,708
無形固定資産	1,083	1,774	2,835	1,061
投資その他の資産	16,957	18,171	16,019	△ 2,152
固定資産合計	69,847	76,081	76,699	617
資産合計	129,339	131,146	132,626	1,480

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	対前期末 増減額
仕入債務	23,348	23,329	23,058	△ 271
有利子負債	13,983	14,915	18,017	3,101
その他の	15,717	15,917	15,456	△ 460
負債合計	53,049	54,162	56,531	2,369
株主資本	71,968	70,815	71,079	264
その他の包括利益累計額	3,883	5,692	4,496	△ 1,196
非支配株主持分	438	476	519	42
純資産合計	76,290	76,984	76,094	△ 889
負債純資産合計	129,339	131,146	132,626	1,480

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	対前年 増減額
設備投資	9,880	10,850	9,589	△ 1,260
減価償却費	5,442	5,688	6,433	745

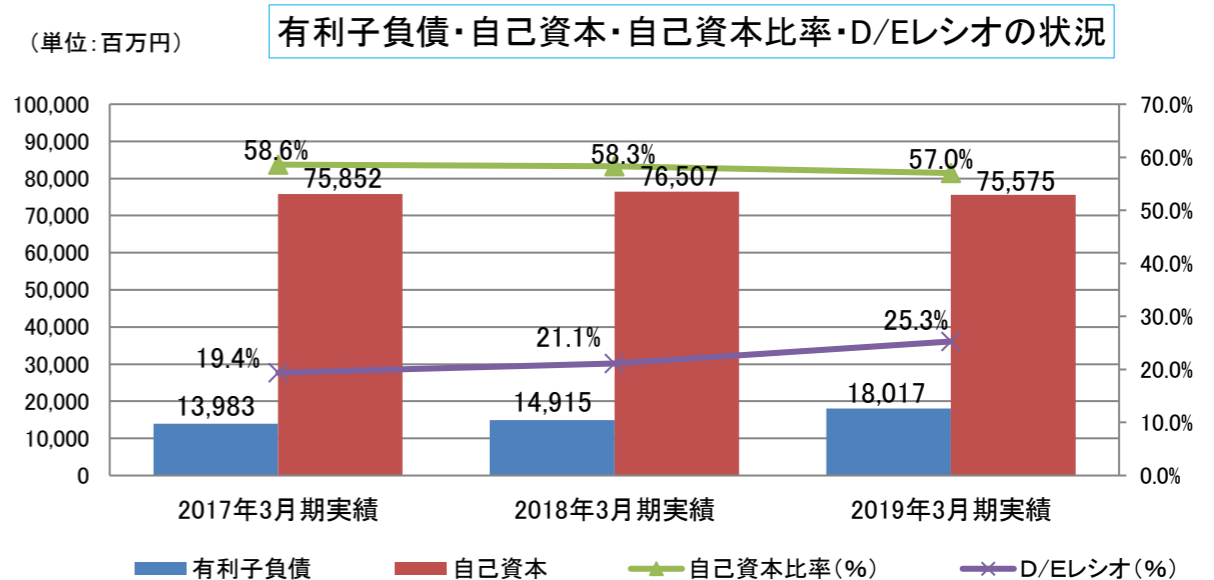
■自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況■

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	対前期末 増減額
自己資本	75,852	76,507	75,575	△ 931
自己資本比率 (%)	58.6 %	58.3 %	57.0 %	△ 1.3 %
D/Eレシオ (%)	19.4 %	21.1 %	25.3 %	4.2 %

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ・総資産は、投資有価証券が減少するも、有形固定資産、売上債権が増加したことなどから、前期末比1,480百万円増加。
- ・設備投資は、減価償却費を上回る9,589百万円を実施。
- ・負債は、繰延税金負債や仕入債務が減少するも、有利子負債が増加したことなどから、前期末比2,369百万円増加。
- ・純資産は、その他有価証券評価差額金の減少や剰余金の配当などから、前期末比△889百万円減少。
- ・自己資本比率は、前期末比△1.3%低下し、D/Eレシオは、4.2%上昇。



※『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、財政状態の状況については、当会計基準等を遡って適用した後の数値で、2018年3月期期末との比較・分析を行っております。

2019年3月期 連結業績のポイント

増 減 要 因

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期		
			実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	232,436	239,586	243,030	3,444	1.4%
売上総利益 (売上高比率)	53,967 (23.2%)	52,642 (22.0%)	54,057 (22.2%)	1,415 (0.2%)	2.7% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	49,256 (21.2%)	50,272 (21.0%)	51,804 (21.3%)	1,532 (0.3%)	3.0% -
営業利益 (売上高比率)	4,710 (2.0%)	2,370 (1.0%)	2,253 (0.9%)	△ 116 (△0.1%)	△ 4.9% -
営業外損益	667	450	471	20	-
営業外収益	1,085	832	879	47	-
営業外費用	418	381	408	27	-
経常利益 (売上高比率)	5,378 (2.3%)	2,820 (1.2%)	2,724 (1.1%)	△ 96 (△0.1%)	△ 3.4% -
特別損益	△ 605	248	△ 248	△ 496	-
特別利益	725	542	298	△ 243	-
特別損失	1,331	293	547	253	-
税金等調整前当期純利益	4,772	3,069	2,475	△ 593	△ 19.3%
法人税等合計	1,441	1,185	965	△ 219	-
当期純利益	3,331	1,884	1,510	△ 373	-
非支配株主に帰属する 当期純利益	46	42	46	4	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,284	1,842	1,463	△ 378	△ 20.5%

■売上総利益■

主力のハム・ソーセージ部門の減収やコンビニエンス向けの新工場立ち上げに伴う初期コストの影響など厳しい環境下、調理加工食品部門の増収などから、売上総利益は、1,415百万円（前年同期比2.7%）の増益で、売上高比率は、22.2%と前年同期比0.2%上昇。

■販売費及び一般管理費■

物流コスト上昇に伴う配送費 1,506百万円の増加（前年同期比5.5%）を主要因に、全体では 1,532百万円（前年同期比3.0%）の増加。売上高比率は、21.3%と前年同期比0.3%の上昇。

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期	
			実績	対前年 増減額
人件費	12,118	11,559	11,116	△ 442
配送費	25,732	27,158	28,664	1,506
その他	11,405	11,553	12,022	468
合計	49,256	50,272	51,804	1,532

■営業外損益■

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期	
			実績	対前年 増減額
受取利息・配当金	305	304	336	32
その他	780	528	543	15
営業外収益合計	1,085	832	879	47
支払利息	206	182	213	31
その他	212	199	194	△ 4
営業外費用合計	418	381	408	27

■特別損益■

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	2019年3月期	
			実績	対前年 増減額
固定資産処分益	55	190	18	△ 172
投資有価証券売却益	669	351	280	△ 70
特別利益合計	725	542	298	△ 243
固定資産処分損失	359	247	280	32
減損損失	128	15	27	11
特別退職金	842	26	181	155
損失補償金	-	-	56	56
投資有価証券評価損	1	3	1	△ 2
特別損失合計	1,331	293	547	253

2019年3月期 連結キャッシュ・フロー

■営業活動によるCF■

運転資金の増加による減少要因があるも、減価償却費の計上や税金等調整前当期純利益の計上などから、6,695百万円増加。

■投資活動によるCF■

投資有価証券や固定資産の売却による収入があるも、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、△7,534百万円減少。

■財務活動によるCF■

配当金の支払いや自己株式の取得があるも、有利子負債の増加などから、255百万円増加。

(単位:百万円)

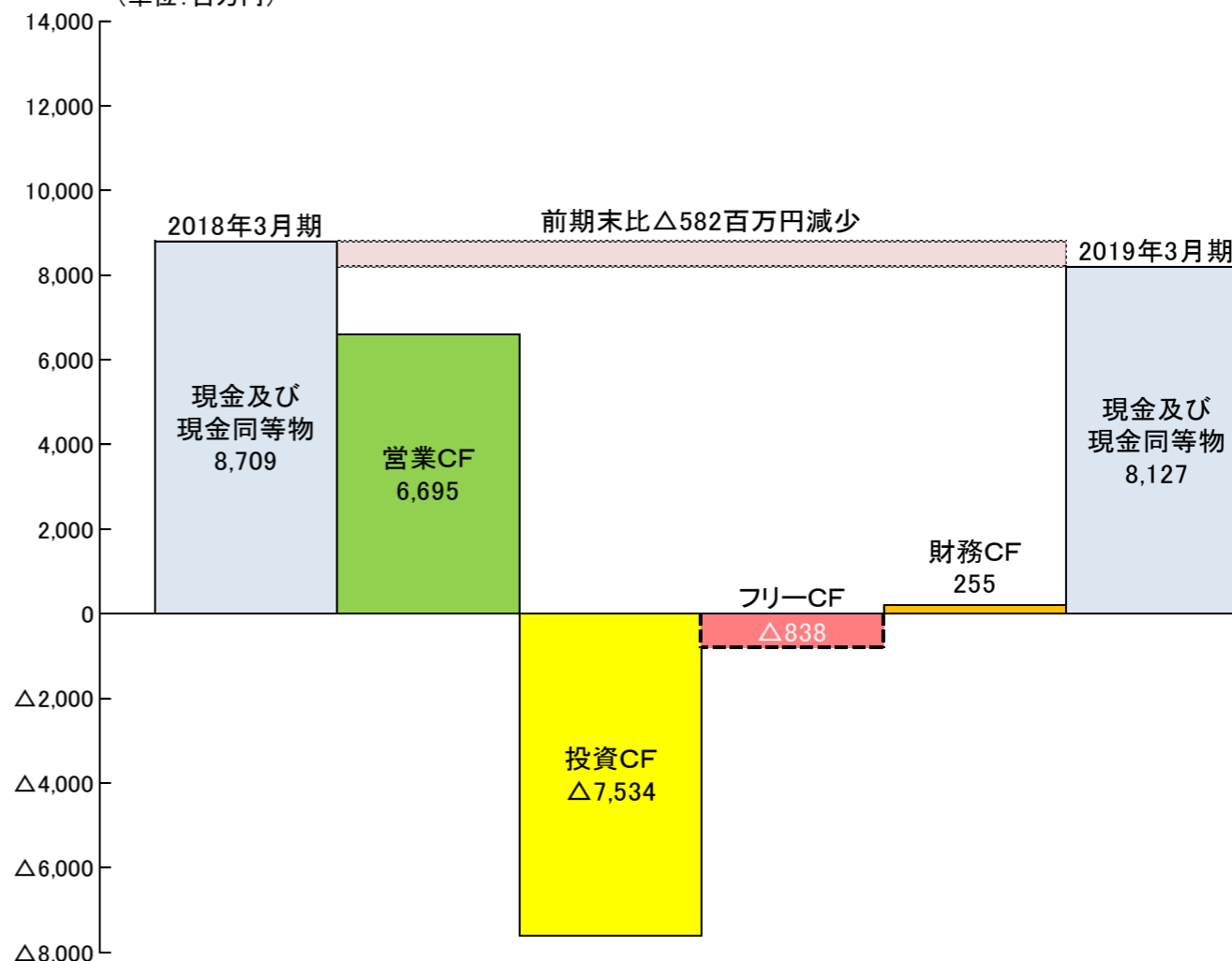
	2018年3月期 実績	2019年3月期	
		実績	対前年 増減額
営業活動によるCF	3,152	6,695	3,543
投資活動によるCF	△7,554	△7,534	20
フリー・キャッシュ・フロー ※1	△4,402	△838	3,563
財務活動によるCF	△3,258	255	3,514
現金及び現金同等物の増減額 ※2	△7,661	△582	7,078
現金及び現金同等物の期末残高	8,709	8,127	△582

■2019年3月期 連結キャッシュ・フローの主な内訳■

(単位:百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期	
		実績	対前年 増減額
◆営業活動によるCF◆			
・税金等調整前当期純利益	3,069	2,475	△593
・減価償却費	5,688	6,433	745
・運転資金	△4,384	△1,623	2,761
・その他	△1,220	△590	630
◆投資活動によるCF◆			
・固定資産の取得による支出	△8,680	△8,433	247
・固定資産の売却による収入	819	494	△324
・その他	306	404	97
◆財務活動によるCF◆			
・有利子負債増減	△257	1,458	1,716
・配当金の支払額	△1,051	△1,019	31
・自己株式の取得による支出	△1,943	△178	1,764
・その他	△6	△3	2

(単位:百万円)



※1 フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

※2 現金及び現金同等物の増減額には現金及び現金同等物の増減額に係る換算差額を含む。

2020年3月期の見通し

■通期見通し■

(単位:百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期		
			計画	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	239,586	243,030	250,000	6,969	2.9%
営業利益 (売上高比率)	2,370 (1.0%)	2,253 (0.9%)	3,500 (1.4%)	1,246 (0.5%)	55.3% -
経常利益 (売上高比率)	2,820 (1.2%)	2,724 (1.1%)	3,900 (1.6%)	1,175 (0.5%)	43.2% -
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	1,842 (0.8%)	1,463 (0.6%)	2,050 (0.8%)	586 (0.2%)	40.0% -
1株当たり配当金	8円	35円	35円	-	-

※2018年3月期の1株当たり配当金は、株式併合前の実際の配当額を記載しております。

■セグメント別 売上高、営業利益見通し■

(単位:百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期		
			計画	対前年 増減額	対前年 増減率
加工食品事業	165,290	169,387	173,500	4,112	2.4%
食肉事業	74,136	73,481	76,350	2,868	3.9%
その他	159	161	150	△ 11	△ 7.2%
売上高	239,586	243,030	250,000	6,969	2.9%
加工食品事業 (売上高比率)	683 (0.4%)	781 (0.5%)	2,050 (1.2%)	1,268 (0.7%)	162.3% -
食肉事業 (売上高比率)	1,528 (2.1%)	1,389 (1.9%)	1,400 (1.8%)	10 (△ 0.1%)	0.8% -
その他	158	82	50	△ 32	△ 39.5%
営業利益 (売上高比率)	2,370 (1.0%)	2,253 (0.9%)	3,500 (1.4%)	1,246 (0.5%)	55.3% -

■2020年3月期の見通し■

(環境) 少子高齢化等に伴う国内消費構造の変化や、人手不足を背景とした労働・物流コストの上昇が見込まれるほか、競合他社との販売競争激化など、依然として厳しい状況が継続。

(課題) ・経営環境の変化に迅速に対応すべく調理加工食品の増強による事業構造の転換を図り、強靱な企業体質を構築。
・商品開発力、技術力の強化及びローコスト経営の推進による企業価値の最大化。

(計画) 売上高 2,500億円 (前年同期比 2.9%増)
営業利益 35億円 (前年同期比 55.3%増)
経常利益 39億円 (前年同期比 43.2%増)
親会社株主に帰属する当期純利益 20億50百万円 (前年同期比 40.0%増)

■2020年3月期の施策■

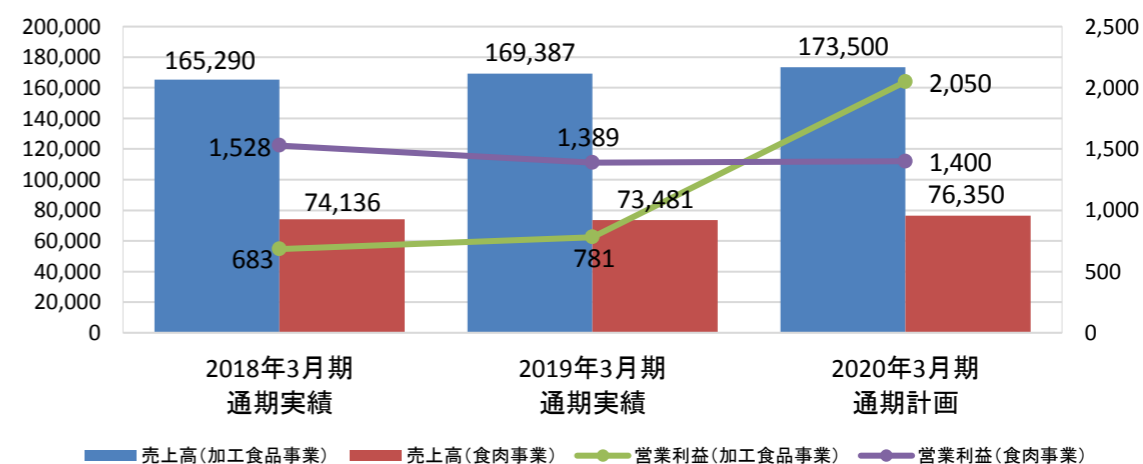
加工食品事業

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックオフィシャルサポーターとして、日本代表選手団を「食」を通じて応援。
- ・ハム・ソーセージ部門の収益改善。
コスト削減と営業効率の向上。
- ・調理加工食品部門の拡大。
- ・昨年度新設したコンビニエンスストア向け新工場の本格稼働。

食肉事業

- ・ブランド戦略の強化。
独自のブランドや、付加価値を訴求した商品展開。
- ・肉惣菜の強化。
新商品の提案。

(単位:百万円) セグメント別 売上高、営業利益見通し





加工食品

熟成ならではの旨み
ジューシーな味わい

ハム・ソーセージ部門

ここまでおいしい
糖質0
ゼロ
特撰シリーズ

特撰ロースハム
特撰ベーコン

おいしく減塩
うす塩
30% 減塩

かろしお
やさしくおいしく

王覇
2018
モンテセレクション
最高金賞

王覇
熟成

あらびきウィンナー
ミニオン
MINION

目がハートのミニオンがいるかも!

お料理ベーコン
150g

煌彩
2018
モンテセレクション
最高金賞

煌彩
熟成

煌彩
直火焼焼豚

煌彩
黒胡椒ミートローフ

煌彩
あぶり焼ハーフローフ

Despicable Me, Minion Made and all related marks and characters are trademarks and copyrights of Universal Studios. Licensed by Universal Studios. All rights Reserved.

調理加工食品部門

韓国家庭料理
スンポウブ

豆腐があればすぐできる

'08~'18年スンポウブの素
11年連続売上No.1

新登場! 3袋タイプ

あめ色玉ねぎのkokと牛肉の旨みが味わい深いカレーです。

ビストロ倶楽部
ビーフカレー
51種類のスパイス&ハーブ使用

お星さま だいすき!
チキンナゲット
国内製造
野菜・果汁入り

5個入

サラダチキン
0.0g 糖質

要冷蔵

タピオカの日
4th
タピオカタイム

みんなで乾杯

もちもち楽しい!

タピオカミルクティー
タピオカカフェラテ
タピオカココナッツミルク

SWEET CAFÉ
ふるふるゼリー×クリーミーソース

期間限定

カフェでくつろぐような時間を...

期間限定
クリームバナナ
カスタード



mm 丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。